

# 令和4年度事業実績

## I 事業の経過

農林水産業を取り巻く状況については、大規模自然災害の発生や地球温暖化の進行、新型コロナウイルス感染症を契機とした生産・消費の変化、農林水産業を担う人材の減少や高齢化の進行に加え、グローバル化の急速な進展とデジタル社会の実現、SDGsや環境を重視する国内外の動きへの対応など、様々な課題に直面している。

このような状況を踏まえ、本県においては、「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」や「かごしま未来創造ビジョン」に基づき、本県農林水産業を担う多様な担い手の確保や、ICT等を活用したスマート農業等の推進による生産性の向上、新商品開発・販路開拓支援、かごしまブランドの確立などに引き続き努めるとともに、ポストコロナを見据え、輸出先国のニーズ等を的確に捉え、生産者、関係団体等と一体となって農林水産物・加工品の輸出拡大などに取り組み、基幹産業である農林水産業の「稼ぐ力」を向上させる取組が推進されている。

このような中、当協会では、令和4年度において、定款に定める次の4つの事業に取り組んだ。

①農業後継者確保・育成対策に関する事業については、関係機関・団体と連携した就農・就業相談会等の開催や東京・大阪での「新・農業人フェア」への参加等により、U・Iターン者等に対する就農・就業相談活動を展開するとともに、農業後継者育成基金を活用した新規就農者や青年農業者グループ等に対する活動費の助成を行い、農業後継者の確保・育成等に取り組んだ。

②担い手農家の経営改善・向上に関する事業については、農業法人等の労働力不足に対応するため、「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し、労働力確保に向けた総合的な支援を行うとともに、野菜担当営農指導員研修の開催や農業基盤整備予定地区の活性化計画の策定等を行った。また、農林水産業の高付加価値化を図るため、「鹿児島農山漁村発イノベーションサポートセンター」を運営し、専門家派遣による商品開発や販路拡大等の経営改善戦略の策定・実行に係る支援を行った。さらに、むらづくりプランナーを設置し、農業法人や自治会等が連携し農村環境の維持・保全等に取り組む組織づくりに向けての支援を行った。

③農林業技術の改善向上・定着に関する事業については、県下7地区の農林技術協会への活動支援のほか、農林技術中央研修会や市町村・農協等の農林業振興担当部課長等職員研修会等を開催し、農林業施策や技術改善向上、農林業技術員の連携強化に努めた。

④県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業については、「かごしまの農林水産物認証制度」(K-GAP)の審査・認証機関として311件、7,393人を認証するとともに「鹿児島県ふるさと認証食品」(3Eマーク)の審査・認証機関として、6品目の180製品を認証した。

令和4年度の主な行事・業務実績一覧表

主要行事・業務		時期	内 容
協会運営関係	会計監査	5/6, 5/10, 5/11	令和3年度事業実績・収支決算
	第1回通常理事会	5/17	令和3年度事業実績・収支決算, 令和4年度事業計画及び収支予算(案)の一部変更について
	定時総会	6/1	令和3年度事業実績及び決算財務諸表(案)について
	第1回臨時理事会	6/29	令和4年度事業計画等の一部変更について
	内部定期監査	12/27	総勘定元帳, 関係通帳等について内部監査
	第2回通常理事会	2/7	令和5年度事業計画・収支予算書(案), 令和5年度資金調達及び設備投資の見込み, 令和5年度会費の額及び徴収方法(案)について
農業後継者育成部関係	就農・就業相談活動	4回 1/7 5/31 年間	相談件数(237件) 新・農業人フェア(東京・大阪) 66件 かごしま就農・就業相談会 83件 農大就農・就業相談会 7件 その他 81件
	農業後継者育成基金事業 審査委員会	書面審査	基金事業申請者の適否審査 ・農高・農大就農促進対策事業 農高・農大就農促進対策助成 12校 農大新卒就農者助成 10件 ・農業青年組織等活動活性化事業 県農業青年組織活動活性化助成 2団体 地域青年農業者組織活動活性化助成 2団体 ・青年農業士育成事業 講座制研修旅費助成 2件 青年農業士認定者助成 21件 プロジェクト等成果発表者助成 2件 ・農業後継者特別支援事業 9件

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容
農 業 後 継 者 育 成 部 関 係	農業経営継承対策	年間	経営継承合意締結 1組 技術・経営継承実践研修 1組 事前体験研修 1組 マッチング支援 5組
	無料職業紹介	年間	農業法人等 11企業（求人数26名） 求職者紹介 3件
	農業次世代人材投資事業 確認調査	年間	研修・就農状況確認調査 151件
	かごしま“わくわく”農業 体験	8/27	農業体験等の企画 ・申込者：18家族(56名) ・ドローンによる散水実演・操作体験，さ つまいも・落花生収穫体験等
農 林 業 技 術 部 関 係	J A野菜担当営農指導員等 研修	9/13～16	野菜担当営農指導員の資質向上に係る研修 参加者 8名
	農業農村活性化計画の策定	11～3月	農業農村基盤整備事業の実施予定地区の 活性化計画の策定 10地区
	「直売所ネットワークかご しま」の推進活動	年間	直売所ネットワーク会員のイベント情報 の掲載（さくらじまネット21） ・情報収集と関連情報の提供
	農業労働力確保への支援 ・労働力確保に係る担当者 会	5～3月	農業労働力補完の仕組みに関する検討及 び情報交換等 8回
・鹿児島県農業労働力支援 センターの運営	4/28	農業労働力支援センター連絡会議 1回	
・労働力の確保に向けた総 合的な支援	年間	農業法人等からの労働力確保等に関する 相談 131件  各種情報収集等 112回 ・求人・求職関係 ・省力機械やスマート農業関係 ・外国人材の受け入れ・活用関係 等	

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容	
農 林 業 技 術 部 関 係	農業労働に係るマッチングアプリ（デイワーク）の普及 ・デイワーク活用セミナーの開催	8/18～19	・指宿市 ・鹿児島市 ・霧島市	参加者：61名 参加者：41名 参加者：39名
	・デイワークの普及と利用推進	年間	・情報誌等への掲載 ・手引きの作成 ・アプリ活用マニュアルの作成 ・普及チラシの作成 ・ポスターの作成	2社 1,000部 2,000部 5万部 100部
	プランナー設置によるむらづくり支援 ・モデル地区（天城町・下市山）への支援	2地区	現状把握 リーダーへの支援 ワークショップ等支援 ビジョン策定支援	3回 5回 4回 2回
	・新規地区の掘り起こし ・施策や先進地区等の情報収集・調査活動	年間 年間	モデル地区以外の現状調査 農村RMO事例調査 農村RMO事例情報収集 各種施策情報収集	6地区 7回 7回 3回
農林技術中央研修会	1/12	テーマ「農林業の情勢を知り，これからの農山漁村のあり方を考える」 2講演	参加者：221名	
機関誌「緑地」の発行	年3回 (6, 9, 1月)	各号2,500部発行と会員への配布		
農林業振興担当部課長及び職員研修会	7/12～13	農林業職員を対象にした農林業施策等に係る研修	参加者数：53名	
6 次 産 業 化 推 進 部 関 係	農林漁業者に対する相談窓口の設置	年間	農林漁業者等からの相談件数	22件
	地域支援検証委員会の開催	第1回 4/25	・県プランナーの活動方針決定 ・県プランナーの選定 ・支援対象者の決定 ・重点支援対象者の決定	11名 23事業者 4事業者
	学識経験者 3名 関係機関団体 4団体	第2回 10/22	・県プランナーによる支援状況発表	1名
		第3回 12/22	・支援対象者に対する支援状況検討 ・県プランナーによる支援状況発表	3名
		第4回 3/24	・県プランナーの評価 ・支援対象者に対する支援状況	



## II 定款に定める事業ごとの実績

### 1 農業後継者確保・育成対策に関する事業（農業後継者育成部）

新規就農者の確保・育成を図るため、就農アドバイザーを設置し、訪問・電話・メール等による個別相談に対応するとともに、関係機関・団体と連携した就農・就業相談会等を鹿児島市や農大で開催した。

また、東京・大阪での「新・農業人フェア」に参加し、U・Iターン者等の就農・就業活動を展開した。なお、相談件数はその他の相談会や個別相談等を合わせ237件となった。

鹿児島県農業後継者育成基金（県、市町村、県農協連、農協からの出捐金10億円）については、運用益を活用して、新規就農者や青年農業者グループ等に対し活動費を助成した。また、就農支援資金の既貸付分の管理業務を行った。

農業経営継承については、技術・経営継承実践研修が1件、事前体験研修が1件あった他、マッチングに向けた支援を5件行った。

厚生労働大臣から許可を得て実施している無料職業紹介事業等は11法人から26人の求人があった。

また、専任の農業次世代人材投資資金指導員1名を配置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び給付後の受給者への面談等を通じ、151件の研修・就農状況の確認・報告業務を実施した。



〈新規就農支援ロゴマーク〉

#### (1) 新規就農者強化支援事業・就農サポート事業（県：補助事業、受託事業）

##### ①就農・就業相談活動の実績

相談会名	月	場所	主催者	相談件数
新・農業人フェア	7, 10, 11	東京 3回 大阪 1回	(株)ツナググループH C	51 15
	1	鹿児島市	協会	83
県立農大就農相談会	5	県立農大	県立農大	7
みらいワーク"かごしま"	12	鹿児島市	県雇用労政課	6
その他・本部	随時	県庁協会内他	協会	75
合 計				237

##### ②農業経営継承支援

農業後継者のいない農業者の有する経営資産（農地、機械・施設、技術、経営ノウハウ、販路等）が将来独立就農を目指す意欲的な新規就農希望者などの第三者へ円滑に継承されるよう、情報提供や相談活動等の支援を行った。

なお、令和4年度末における経営移譲希望登録農家数は4件で、令和4年度の新規継承希望登録者は2名となっている。

##### 令和4年度 農業経営の第三者継承に係わる実績

マッチング	事前体験研修	マッチング成立	技術・経営 継承実践研修	経営継承合意書 締結・経営開始
5件	1件	0件	1件	1件

(2) 就農・就業を目指す人材育成事業(県：受託事業)

小中学生を対象に教育機関と連携しながら、農業への理解促進や仕事としての農業の魅力を紹介するために、下記の体験ツアーを企画・実施し、アンケート調査を行った。

①農業に触れる体験ツアーの開催

○期日・場所：令和4年8月27日(土) 県立農業大学校

○内 容：農大，農開センター及び県下農業高校の紹介，ドローンによる散水実演・操作体験，さつまいも・落花生の収穫体験 等

○参加者：18家族56名

(3) 農業後継者育成基金事業

①新規就農者経営発展支援事業

申請なし

②農高・農大就農促進対策事業

ア 農高就農促進対策助成 (単位：千円)

助成団体	事業費	助成額
県下農業系高校(11校14学科)	1,842	1,231

※千円未満の端数は、四捨五入している。

イ 農大就農促進対策助成 (単位：千円)

事業内容	事業費	助成額
かごしま就農・就業相談会参加 先進地研修	82	82

※千円未満の端数は、四捨五入している。

ウ 農大新卒就農者助成 (単位：千円)

応募者数	助成決定者数	助成額	就農場所
10人	10人	300	(農大成績優秀者10人) 出水市1, 薩摩川内市1, 日置市1, 曾於市1, 霧島市3, いちき串木野市1, 志布志市1, 与論町1

③農業青年組織等活動活性化事業

ア 県農業青年組織活動活性化助成 (単位：千円)

応募団体	助成団体	事業費	助成額	団体名
2団体	2団体	508	300	鹿児島県農協青壮年組織協議会
		309	300	鹿児島県農業青年クラブ連絡協議会
合計		817	600	

※千円未満の端数は、四捨五入している。

イ 地域青年農業者組織活動活性化助成 (単位：千円)

応募団体	助成団体	事業費	助成額	団体名
2団体	2団体	107	100	飛翔クラブ(霧島市)
		100	100	翔南倶楽部(南大隅町)
合計		207	200	

※千円未満の端数は、四捨五入している。

④青年農業士育成事業

ア 講座制研修旅費助成

総合講座 2名 助成額 33.8千円

イ 青年農業士認定者助成

令和4年度青年農業士認定21名 助成額 210千円

ウ プロジェクト等成果発表者助成

第61回全国青年農業者会議(3/2)プロジェクト発表者2名 助成額 60千円

⑤農業後継者特別支援事業

(単位：千円)

市町村	申請団体名	事業費	助成額
枕崎市	枕崎市大塚周年菊研究会	250	200
南さつま市	加世田常潤高校食農プロデューサー科	100	100
日置市	農業大学校 農学部野菜科 5課題	502	500
	〃 畜産学部肉用牛科 1課題	123	100
	〃 酪農科 1課題	128	100
合計	9 課題	1,103	1,000

※千円未満の端数は、四捨五入している。

(4) 農業次世代人材投資事業 (県：受託事業)

専任の農業次世代人材投資資金指導員1名を設置し、農業次世代人材投資資金(準備型)給付中及び受給後の受給者への面談やほ場確認等を通じ、就農状況の確認・報告業務にあたりるとともに、農業経営の定着・発展に向けた効果的な支援を実施した。

○対象者の調査件数： 151件

2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業 (農林業技術部・6次産業化推進部)

経営体質の強い経営体を目指す認定農業者等の育成を図るため、JA営農指導員の研修を開催するとともに、基幹的な農産物直売所等設を対象にした管理運営のフォローアップ活動や直売所ネットワークに参加している直売所のイベント等の情報提供を実施した。

また、農業労働力支援センターや農山漁村発イノベーションサポートセンターの運営を通じ、農業法人等の労働力確保や6次産業化の取組を支援した。

(1) JA野菜担当営農指導員等研修 (県経済連：受託事業)

JA野菜担当営農指導員等を対象に、栽培技術や産地育成など現場での指導能力を高めるための研修を実施した。

○基礎研修：令和4年9月13日～9月16日

参加者 8名

(県農業開発総合センター農業大学校 研修館)

(2) 農業農村活性化計画の策定 (県土改連：受託事業)

農業農村基盤整備事業(中山間地域型及び担い手育成型等)の実施予定地区の農業農村活性化計画を策定した。



○対象地区：10地区

下山田地区（南九州市），出水平野第2地区（出水市），第一国分東地区（霧島市），川東地区（始良市），谷迫地区（大崎町），新上里地区（南種子町），手久津久地区（喜界町），第二天城南  
部2地区（天城町），伊美地区（和泊町），正名地区（知名町）

**（3）農業労働力支援事業（県担い手・地域営農対策協議会：受託事業）**

農業法人等の経営発展に必要な農業労働力の確保等を支援する「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し，専任の「農業労働力支援員」による農業分野における求人・求職の情報収集，マッチングや労働力軽減につながるスマート農業の紹介等を行った。

また，「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」と連携し，外国人技能実習制度等の情報収集・提供を行った。

①鹿児島県農業労働力支援センターの活動

ア 労働力確保に係る担当者会	8回
イ 農業労働力支援センター連絡会議	1回
ウ 農業法人等からの労働力確保等に関する相談活動	131件
エ 求人・求職や省力機械，スマート農業，外国人材の受け入れ・活用等に関する情報収集及び提供活動	112回

**（4）農業労働力確保緊急支援事業（国公募型事業）**

（株）マイファームが実施する公募型事業を活用し，スマートフォンを活用して農家の働き手を募集するマッチングアプリ（1日農業バイト「デイワーク」）の普及に取り組んだ。

①デイワーク活用セミナーの開催

・指宿市（開聞総合体育館）	令和4年8月18日午後	参加者61名
・鹿児島市（鹿児島県自治会館）	令和4年8月19日午前	参加者41名
・霧島市（かごしま空港ホテル）	令和4年8月19日午後	参加者39名

②普及と利用推進活動

- ・情報誌「フェリア」と南日本新聞社LAN広告に求職者体験記や農家事例を掲載
- ・臨時雇用の手引き（1,000部）及びアプリ活用マニュアル（2,000部）の作成
- ・普及チラシ（5万部）及びポスター（100部）の作成・配布

**（5）6次産業化推進事業（県：受託事業）**

6次産業化を推進するために「鹿児島農山漁村発イノベーションサポートセンター」を運営し，農林漁業者等からの相談に対応するとともに，6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善戦略の作成及び実行を支援するために県プランナーを派遣した。

県プランナーで対応が困難な取組については，中央サポートセンターに中央プランナーの派遣を依頼し，連携して支援を行った。

また，重点的に支援する必要がある農林漁業者等に対して中央サポートセンターにエグゼクティブプランナーの派遣を要請して支援を行った。



〈6次産業化のマーク〉

### ①相談窓口の設置

- ・電話等による相談件数 22件

### ②県プランナーによる支援

地域検証委員会で選定した支援対象者に県プランナーを派遣して、経営改善支援計画の作成支援及び実行を支援した。

- ・県プランナー数 11名
- ・県プランナーによる支援事業者数 23事業者
- ・県プランナーによる支援回数 131回
- ・経営戦略作成数 23件

### ③中央プランナーによる支援

全国段階の専門家である中央プランナーを派遣し、経営戦略の実施を支援した。

- ・支援対象事業者数 4事業者
- ・直接訪問による支援 15回
- ・支援内容：販売先の紹介などによる販路拡大支援、HACCPに対応した衛生管理計画の作成支援、加工技術に関する指導

### ④エグゼクティブプランナーによる支援

地域検証委員会で選定された重点支援対象事業者に対し、中央サポートセンターにエグゼクティブプランナーの派遣を要請して支援を行った。

- ・支援対象事業者数 4事業者
- ・直接訪問による支援 30回
- ・リモートによる支援 17回
- ・経営戦略作成数 4件
- ・支援内容：経営分析、経営戦略策定支援、販路拡大支援（ECサイト活用、クラウドファンディング実施、写真撮影、ホームページ改善等）

## (6) むらづくり実践活動支援事業（県：受託事業）

むらづくりプランナーを設置し、モデル地区等に対し、地域リーダーの育成に向けた地域の現状把握や話し合い活動の助言を行うとともに、農業者組織と自治会など地域が連携した農村環境の維持・保全に係る仕組みづくりなど、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成に向けた支援を行った。

### ①モデル地区の支援

モデル地区の将来ビジョンの策定、行動計画作成への支援を行った。

- ・地区の現状把握 3回
- ・リーダーの支援 5回
- ・ワークショップ等話し合い活動支援 4回
- ・ビジョン策定支援 2回

### ②県全体の農村RMO実践地区の掘り起こし

モデル地区以外の現状を調査し、新たなモデル形成支援候補地区の掘り起こしを行った。

- ・地区リーダー、関係者への現状調査 6地区

③施策や先進地区等の情報収集・提供

モデル地区の伴奏支援に必要な各種情報収集・提供を行った。

- ・ かがしま農村創生塾等リーダー研修 6回
- ・ 農村RMO事例調査 7回
- ・ 農村RMO事例情報収集 7回
- ・ 各種施策情報収集 3回

### 3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業（農林業技術部）

技術革新と情報化の進展，国際化に的確に対応した農林業技術の改善向上が求められる中で，高度な技術を修得し農業者等のニーズに応えるため，農林技術中央研修会等を開催するとともに，機関誌「緑地」の発行等を通じて指導者の技術向上を図った。

(1) 地区活動促進対策事業（自主事業）

各地区での農林業技術者の活動を支援し，地域農林業の振興を図った。  
県下7地区農林技術協会に対する活動経費の交付

(2) 機関誌等発行事業（自主事業）

農林業指導者を対象に，新政策や新技術情報等について紹介した機関誌「緑地」を年3回，各号2,500部発行した。（237号/夏号6月，238号/秋号9月，239号/春号1月）

(3) 農林技術研修事業（自主事業）

①農林技術中央研修会

○日時・場所：令和5年1月12日 かがしま県民交流センター

○参加者：221名（うちWEB参加 51名）

○内容：テーマ「農林業の情勢を知り，これからの農山漁村のあり方を考える」

講演1 くまもと農家ハンター 宮川 将人

講演2 株式会社いろどり 代表取締役社長 横石 知二

②総合研修会

ア 離島総合研修会（熊毛地区） 新型コロナのため中止

イ 農林業振興担当部課長及び職員研修会

○日時・場所：令和4年7月12～13日 かがしま県民交流センター

○参加者：53名

(4) 永年勤続農林業指導者表彰事業（自主事業）

農林業指導者の永年にわたる功労に対し表彰を実施した。

○令和4年度農林業技術員退職者 50名

(5) 先端技術情報の収集・整理・蓄積・提供等に関する事業（自主事業）

先端技術情報，地域農林業の振興に関する情報，生産・流通情報等の内容充実や各部の的確な情報更新を図り，各種媒体を通して会員並びに消費者等，不特定多数の県民に対して積極的な情報発信に取り組んだ。

①機関誌「緑地」による新技術や重点施策等に関する情報提供

（6，9，1月の年3回，各2,500部）

②ホームページ「さくらじまネット21」の内容充実と的確な更新

○ホームページ訪問数 : 28,364件 (令和4年度実績)

○かごしまの農林水産物認証状況や就農相談, 農業労働支援等に係る情報等を掲載

○県内農産物直売所に係る情報収集と提供

「直売所ネットワークかごしま」の各種イベント情報等の収集・提供

#### 4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業 (食の安全推進部)

県では, 消費者の食の安心・安全に対する関心が高まっている中で, 安心・安全な食の供給に係る認証制度の取組や, 消費者に顔の見える農林水産業の推進に努め, 本県農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図っている。

当協会は, 県から「かごしまの農林水産物」と「ふるさと認証食品」の審査・認証機関として指定されており, 県の基準に基づき審査・認証業務を行った。

##### (1) かごしまの農林水産物審査・認証事業(審査・認証機関)

東串良町ピーマンの再認証(19回目)など, 野菜211件, 果樹48件, 米18件, たけのこ1件, 原木栽培きのこ8件, 菌床栽培きのこ4件, 卵5件, 茶13件, エビ養殖2件, 海面魚類養殖1件の合計311件(新規22件, 再認証289件)の農林水産物を認証した。



< K-GAPマーク >

##### ○かごしまの農林水産物の認証実績

認証の区分	令和4年度	
	認証件数	認証生産者数
野菜	211	6,038
果樹	48	933
米	18	158
たけのこ	1	5
原木栽培きのこ	8	14
菌床栽培きのこ	4	4
卵	5	20
茶	13	210
エビ養殖	2	2
海面魚類養殖	1	9
計	311	7,393

※茶の認証工場数は(101)

##### (2) ふるさと認証食品の審査・認証事業(審査・認証機関)

県では, 県内に古くからある伝統の製造方法による食品や, 特徴ある県産原材料の良さを活かした食品, 独自の技術により生産された特色のある食品について, 製造方法や使用原材料等の基準を定め, これに適合するものを「ふるさと認証食品」として認証し, 品質のよい地域の特産品の振興を図っており, 当協会は, 現在, 28品目の対象のうち20品目の審査・認証機関となっている。



< 3Eマーク >

令和4年度は、前期に「いも焼酎」をはじめ3品目、11業者111製品、後期は「いも焼酎」をはじめ4品目について、16業者69製品、合計で6品目、27業者、180製品を認証した。

【参考】認証された製品については、3年間、Excellent Quality（優れた品質）、Exact Expression（正確な表示）、Harmony with Ecology（地域の環境との調和）を証明する「3Eマーク」を付けて販売できる。

○ふるさと認証食品の認証実績（令和4年度）

品目名	前期(9/29)		後期(3/24)		合計	
	業者数	製品数	業者数	製品数	業者数(延べ)	製品数
いも焼酎	9	103	13	66	22	169
たけのこの水煮	1	6			1	6
乾燥きくらげ	1	2			1	2
黒豚みそ			1	1	1	1
のり佃煮			1	1	1	1
寒干したくあん漬け			1	1	1	1
計	11	111	16	69	27	180